

愛 宕 山

(若土)

^{あたごやま}愛宕山は小鴨谷と広瀬谷の間に位置する海拔240メートルの山である。上小鴨神社から歩いて20分で頂上に到達する。頂上までの山道は、よく整備され、子どもでも楽に登れる。頂上には祠や東屋があり、見晴らしは大変よく、南から蒜山、大山、久米が原、その向こうには風力発電塔、日本海、澄み切った日には隠岐島、打吹山と180度の眺望は素晴らしい。頂上から上小鴨の大部分の地域が眼下に見え、まるでパノラマを見ている様である。

愛宕山は全国各地に存在し、そこには防火・鎮火の神様として愛宕大権現様を祀る神社や祠が見られる。上小鴨の愛宕山にも愛宕若宮権現を祀る祠がある。

愛宕山は上小鴨地区のシンボルとして崇められ、上小鴨小学校の校歌にも「山だわれらのあたご山 高くさとしくよびかける おおわが友よはるかなる 山じたずねてみがくのだ」と歌われている。上小鴨小学校の卒業生には懐かしい歌詞である。

元旦、上小鴨公民館恒例の新春愛宕山登りが行われる。毎回、50名近い人々が登り、山越えに現れる初日の出を拝み、一年の健康と幸せを祈願する。また、8月23日には、頂上で無病息災・五穀豊穡を祈って火祭りが行われる。

